

広野で桜の植え替えと手入れ

静岡・飛龍高の生徒

静岡県沼津市の飛龍高の生徒は二十六日、広野町を訪れ、昨年町内に植樹した桜の植え替えと手入れ作業を行った。東日本大震災の復興支援事業の一環で、JR広野駅東側の水路沿いに河津桜の苗木を植えた。作業には三年生の生徒、教員、町職員ら合わせて約三十五人が参加した。枯れ



桜の植え替え作業に励む飛龍高の生徒

てしまった苗木を新たに植え替え、支柱の補強、雑草の除去などに励んだ。クラス委員長を務める古牧尚平さん(こまけ)は、小学生時代に

自由研究で震災を取り上げ、家族で福島を訪れた経験があるという。「復興が進んだ町の様子を見て驚いた。成長した桜を見てみた」と話した。

二十七日は、同校の一年生が双葉郡を訪れ、ボランティア活動を行う。広野町の二ツ沼総合公園でオリーフの木周辺の除草作業に取り組むほか、植葉町でNPO法人ハッピーロードネットの「ふくしま浜街道・桜プロジェクト」などに参加する予定。

復興後押しし除草作業

広野や静岡・飛龍高1年生



桜の木の近くで草刈りする生徒＝植葉

静岡県沼津市の飛龍高の一年生約三百二十人は四月二十六、二十七日

西、いわき市や広野、植葉町を訪れ、草刈りなどのボランティア活動を展開した。東日本大震災と東京電力福島第一原発事故の被災地の現状を学び復興に貢献しようと母



オリーフの木の周囲で雑草を取り除く生徒ら＝広野

生実施している。初回は津波発生時の話を聞かされた。被災地を歩

最終日は班に分かれ、NPO法人ハッピーロードネットの「ふくしま浜街道・桜プロジェクト」で植樹した植葉町の桜の木周辺の草刈りや、ひろのオリーフ村が二ツ沼総合公園に植えたオリーフの木周辺の雑草除去に取り組んだ。生徒は、震災から七年が経過した福島の実状に理解を深め、自衛的な表情で草刈りや除草のボランティアに取り組んでいた。